

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こすもけあくらぶ (放課後等デイサービス)
------	-----------------------

公表日 2025年12月26日

利用児童数 16

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	9	1				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1			リハビリサービスの具体的な内容や専門性がわかりにくく提供範囲が把握しにくい。内容の明示があると助かります。	その日の具体的な内容等を保護者に伝えていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2		3		長期休みを中心に検討していきます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2				引き続き、研修会等の資料を掲示していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	1	2		今後も保護者の皆様のご意見をできるだけ取り入れていきます。また、ご家族が集まれる機会を設けていきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			2		相談や申し入れがあれば速やかに職員が対応する用意がある旨を、保護者の皆様に周知していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				安心して預かって頂ける場所ができました。ありがとうございます。	今後も利用者の皆さんが安心して過ごせるよう、支援していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				楽しく通わせて頂いています。	引き続き、様々な活動を取り入れていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				いろいろなイベント等、工夫して下さりありがとうございます。	これからも、ボランティアの方々との交流、演奏会等も企画していきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こすもけあくらぶ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 6日		2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 11月 6日		2025年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎回行っているミーティングで、業務日誌やカルテ等の引継ぎ事項を確認し、利用者に対する支援にあたっている。	支援やケアの変更点をミーティングで共有すると共に、看護師、支援員、専門職員等が、利用者に対する専門的な知識に基づき、常に適切な支援になるように心がけている。	看護師カンファレンス、支援員カンファレンスの回数を増やし、さらなる支援の質の向上をはかる。
2	法人内で定期的に研修を実施すると共に、虐待防止・権利擁護や専門性を高めるための各種の研修に積極的に参加し、日々の活動にかかっている。	救急シミュレーション研修や嘔吐時シミュレーション研修、手洗い研修等を法人内で計画して実施したり、郵便やインターネットで送られてくる各種の研修会の情報を職員に伝達し、できるだけ参加できるようにする。	現地での研修以外にもズームなどで研修に参加できる場合には、会場を設定し、よりたくさんの職員に参加を呼びかける。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援終了時、毎回振り返りができない。	パート職員も多く、退勤時間がそれぞれ異なるため、振り返りをする時間が確保できない。	翌日のミーティングの時に、業務日誌に記載した内容を必ず読み上げて職員に伝えると共に、利用者の引継ぎ内容や支援の変更等については、職員間で統一した支援ができるよう周知する。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こすもけあくらぶ (放課後等デイサービス)		2025年 12月 26日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	しっかりと人数調整がされている。手足が届かない範囲で行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14		車椅子で過ごす中で支障がないような環境である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	1	明るくて仕切りもあり、対応が可能である。多少狭いが、空間を清潔に保つようになっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14		空間を仕切るカーテンが設置されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	14			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		意見交換や話し合いがしっかりとされている。疑問に思う事、迷う事等その都度職員間で話し合わせ、実践に繋げている。定期的に必要なに応じて面談の機会がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		14		理事長・相談員等を含めて、客観的に評価を行い、業務改善につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	14		ズーム研修等もあり、参加しやすい。法人内で定期的開催され、外部研修の案内も掲示されている。定期的実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14		個に応じて対応している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14		ミーティングの時間を利用して他職種間で課題や支援内容について意見を出し合い、情報共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	1	計画書は最新の内容がカルテに綴じられている。	具体的な支援や活動については、その日のリーダーによる部分が多いと思われる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		14		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	2	主にはその日のリーダーが中心になり立案を行っているが、学期毎の担当制には意見交換することもある。共通理解している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		いろいろな活動、体験等が行われている。なるべく楽しく参加しやすい活動を考えられている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14		なるべく楽しく参加しやすいよう工夫し、個々に応じた目的や課題を重視して取り組んでいる。メリハリをつけて実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	3	その日の担当や役割分担については配置表（ボード）で確認している。カルテの記載事項、引き継ぎを大切にしている。	職員間での打ち合わせはできていないことも多い。毎回は時間的に難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	6	利用者が帰られた後もしくは少なくなった頃、振り返りや気付いたこと等話すことがある。	毎日ではできていないが、業務日誌に支援の変更等は必ず記載し周知できるようにする。終了後の打ち合わせは行われていない。毎回は難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14		記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	1		複数組み合わせはまだまだかと思う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	13	1	課題や遊び等いくつかの中から本人に選んでもらう機会を設定している。可能な場面では複数選択肢を提示し視線や表情、手の動き等の反応を観察している。視線等で選択する機会を作っている。	不十分なので努力していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14		必要に応じて定期受診に同行したり、定期的に関係各所との連絡会議や協議会に参画している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14		その都度、細かい点まで連絡をとっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	14			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		14		なかなか難しい。時間的にも難しいと思う。感染症対策を考えると、実施するにはハードルが高いと考えられる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	14			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14		送迎（お迎え）時等を利用し、事業所での様子や家庭での様子について聞き取り、共有している。その都度、対応している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		14	研修会の通知や資料は、その都度保護者に掲示している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	1	支援会議や個別懇談会にて確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14		計画書の更新時に保護者へ説明している。必ず同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	1	必要に応じて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		14		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14		通信の発行の他、必要に応じてお便りを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		こどもは写真カード等工夫して活用し、保護者にはおたより、写真等を定期的に掲示する等工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	1	法人内で実施しているフェスタに招待し、地域の方々との交流を図っている。	平日の放デイの時間は難しいが、長期休みには誘っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1		各マニュアルの所在を周知する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14		地震、火災等各非常時を想定した訓練を実施している。定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14		全員で共有し、話し合いを行っている。ヒヤリハット報告書の作成及び閱讀、ミーティング時に職員間での共有を実施している。虐待防止委員会の中でもヒヤリハット報告を取り扱い、議論している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		職員全員が研修会に参加することになっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14		配慮して行っている。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こすもけあくらぶ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 6日		~ 2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年 11月 6日		~ 2025年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	* 児童発達支援を実施する際は、障害の重い子や医療的ケアのある子へのきめ細かい支援。	* 児童発達支援を実施する際は、看護師や保育士等がそれぞれの専門的知識を活かしてチームとして関わっていく。	* 児童発達支援を実施する際は、支援計画に沿ってスモールステップで支援をしていく。
2			
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	* 児童発達支援を実施する際は、必要に応じて個別の部屋や場所をどのようにしたら確保できるのか検討する。	* 児童発達支援を実施する際は、必要に応じてカーテンや間仕切りなどを活用していく。	* 児童発達支援を実施する際は、体調・障害や医療的ケアの状態等から、個別や小集団での活動を決め出していく。
2			
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ごすもけあくらぶ (児童発達支援)				公表日	2025年 12月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。				* 児童発達支援を実施する際は、部屋を個別に仕切れるように配慮していく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		* 理事長・相談員等を含めて、客観的に評価を行い、業務改善につなげている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な 支援の 提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。				* 児童発達支援を実施する際は、ミーティング等の時に職員間で支援計画共有されるようにしていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				*児童発達支援を実施する際は、地域の児童発達支援センターとの連携を深めていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		*児童発達支援を実施する際は、どのような形で交流ができるのか検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				*児童発達支援を実施する際は、保護者との情報交流の場は大切にしていきたい。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。					*児童発達支援を実施する際は、地域住民を呼べるような機会を設定したい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			*児童発達支援を実施する際は、BCPを策定し、定期的な避難訓練を実施していく。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				*児童発達支援を実施する際は、ヒヤリハット事例を職員間で必ず共有できるよう配慮していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○					